

平成 26 年 11 月 7 日

各 位

東京都品川区南大井六丁目 22 番 7 号
株式会社インフォメーションクリエイティブ
代表取締役社長 山 田 亨
(JASDAQ コード番号：4769)
問合せ先
取締役経営戦略室長 吉田 明芳
TEL (03) 5753-1211

特別損失の計上及び業績予想との差異に関するお知らせ

平成 26 年 9 月期（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）において、以下の通り特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。また、特別損失の発生を踏まえ、平成 26 年 8 月 8 日付「平成 26 年 9 月期第 3 四半期決算短信（非連結）」にて発表いたしました通期業績予想と実績に差異が生じたので、お知らせいたします。なお、平成 26 年 9 月期配当予想の修正はございません。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社が製造・販売するクラウドチケットシステムの一部機能（サービス）に関しまして、今後の見通しを勘案し将来の回収可能性を検討した結果、簿価価格を回収可能額まで減額し、ソフトウェアの減損損失として特別損失に計上いたしました。平成 26 年 2 月 7 日に開示いたしました「投資不動産の減損」などを含め、減損損失として 181,731 千円を計上いたしました。

2. 平成 26 年 9 月期通期業績予想と実績の差異（平成 25 年 10 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A)	6,674	382	409	243	63.50
今回修正 (B)	6,482	346	382	97	25.37
増 減 額 (B-A)	△192	△36	△27	△146	△38.13
増 減 率 (%)	△2.9%	△9.4%	△6.6%	△60.1%	△60.0%
(ご参考) 前期通期実績実績(平成 25 年 9 月期)	6,236	323	362	217	56.85

3. 差異が生じた理由

平成 26 年 9 月期の業績につきましては、官公庁・自治体、金融・証券及び製造の各業種向け案件などを中心に受注が堅調に推移しましたが、ソフトウェア開発の一部の作業に作業超過が発生したこと、業界全体の技術者不足が続いたことに加え、特別損失の計上として、ソフトウェアの減損及び投資不動産の減損が重なったためであります。

この結果、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回の予想を下回りました。

(注) 上記予想は、本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上